

ラジオドラマ  
リアライズサマー

浅瀬まなぶ

深沢夏穂<sup>かほ</sup>

深沢秋穂<sup>あきほ</sup>

沖野ほだか

青山なつき

第1話

浅瀬まなぶ

石川県金沢市 その隣にある内灘町、  
金沢市民が海にいくとすれば、ここ内灘海岸が定番だ、  
僕も夏になれば、この海岸を訪れ、海を眺める

人生設計という言葉を目にしたのは、高校生の頃だったのかもしれない  
どんな大学に行き、どんな会社に就職して、結婚し、  
いつかはマイホームを持つ。

高校生の頃、想像できたのはそこまで、  
想像というか憧れだろうか、しかし、それは本当に憧れだったのだろうか  
今から思えば、誰でも一度は考える事なのかもしれない  
実際、実業高校に入った僕には、どんな大学に行くのかは  
選択肢にはなかった

田舎の高校に入った時点で、どこに就職するかであり、進学の実績は無い、  
むしろ、それは子供の頃から決めておくべき話なのか、  
それとも、それは考える余地もなく、  
生まれ育った家庭環境、親の価値観で決められるべき事なのだろうか  
この歳になればそれは結局愚痴に過ぎないのかもしれない  
どこに生まれ育とうと、気付く奴はすぐに気付く、  
そして、目標に向かって歩き出すんだろうな。  
僕の人生、自ら選択し、歩いてきたと言えるのだろうか  
ただ消去法で選んできただけなのかもしれない

深沢夏穂

ねえ、人生楽しんでる？

浅瀬まなぶ

・・・どうなんだろう・・・

向希夏穂

泳がないの？

浅瀬まなぶ

泳がないんだよ

深沢夏穂

貸し浮き輪はありますよ

浅瀬まなぶ

海の家の人？

深沢夏穂

あ、残念そう、ごめんね、逆ナンだと思った？

浅瀬まなぶ

まあ、残念だけど、逆ナンならそれはそれでウザイ

深沢夏穂

勝手なヤツだなー、よし、浮き輪くらいならサーブスしよう、はい

浅瀬まなぶ

いや、無理、マジでシャレにならないから

おふくろからも止められているから

深沢夏穂

ああなるほど、はいはい、マザコンですか

浅瀬まなぶ

男はたいていマザコンですよ、その気持ちが親孝行の一部です、

そのくらい泳げませんって話

深沢夏穂

泳げないのに海に来るんだ

浅瀬まなぶ

泳げないから海を見たくなるんだよ

深沢夏穂

うんうん、切なくもあり、美しくもあり・・・いとおかし

ねえねえ、今日は何時までいるの？

浅瀬まなぶ

分からない

深沢夏穂

決まってるじゃないの？

浅瀬まなぶ

なんの準備もないし

深沢夏穂

じゃあ準備があればいいわけだ

今夜ね浜辺でDJタイムあるんだ、お客さん確保しなきゃいけない

そんなもん、自分の友達呼べばいいだろ

いないんだ

浅瀬まなぶ

え？

深沢夏穂

まだ、友達いないんだ

浅瀬まなぶ

まだ？

深沢夏穂

昨日来たばかりだから、ここ、金沢

浅瀬まなぶ

出身、どこ？

深沢夏穂

神奈川

浅瀬まなぶ

金沢と神奈川で言葉の響きが分かりづらいよ

関東の神奈川県ね、東京でいいだろ

じゃあ富山県とか福井県生まれの人は金沢出身とか言うの？

浅瀬まなぶ

言うわけないだろ、全然違うよ

深沢夏穂

だから、こっちも全然違うんだってば

浅瀬まなぶ

田舎からすれば、関東の人は東京の人なんだよ、原宿まで何分？

深沢夏穂

えっと、電車で1時間くらいかな

浅瀬まなぶ

ほら、原宿まで1時間、そういうの東京の人っていうんです

深沢夏穂

まあ、いかないけどね

浅瀬まなぶ

はあ？土日は原宿で買い物すんだろ？

深沢夏穂

はあ？何情報よ、なんでわざわざ、地元で十分です、神奈川なめんなよ、夏のヒット曲は全部湘南で生まれたんだから

浅瀬まなぶ

ごめん、なんの話だっけ？

深沢夏穂

神奈川にはアルタもロフトもあるから買い物は十分です、って話むしろセレブな街

浅瀬まなぶ

知らねーよ、神奈川の事は、

深沢夏穂

ようはこっち来たばかりで、お客さん集めるのに困ってるんだろ？

浅瀬まなぶ

話が早い、あ、名前聞いてなかった

深沢夏穂

浅瀬まなぶ

浅瀬夏穂

浅瀬君、わたし、深沢夏穂、夏の稲穂って書くの

じゃあよろしくね、浅瀬君

浅瀬まなぶ

・・・大人も子供も人間はいつでも他人がうらやましくなる時があるしかし子供と大人は真逆で、子供の頃はおもちゃやゲーム、

自分にはない物を持っている人がうらやましかったが

大人になってからは、何も無い人、悩みの無い人がうらやましくなる

悩みの無い人間などはいない、そんな事はわかってるのだが、

晴れた空の下、楽しんでいる人には

悩みなど無いように見えるのは気のせいだろうか

僕はいつからこうなっていたのだろう・・・

気が付けば夕陽も沈み海はまた違った姿を見せていた

時間経過

波の音

浅瀬まなぶ

真夏の夜のDJタイム、

誘われて来たのはいいが、いくつになっても

こういった雰囲気には馴染めない、

そもそも金沢の人間は閉鎖的で

集団で楽しむ事になれていないと思うのだ、

ミュージシャンがLIVEをしたくない地域のワースト3に、

金沢が入るといふ噂を聞いた事がある

深沢夏穂

あ、いたいた、まわりが暗くてよく分からないけど、暗い場所に暗い人って案外見つけやすいんだね

浅瀬まなぶ

俺は暗くない！

深沢夏穂

はい、すいません、はい、言いなおすね、あまり開放的ではない

浅瀬まなぶ

はい、そうです

深沢夏穂

金沢人ってみんなそうなの？

浅瀬君が輪をかけてそうなの？なんかイマイチ盛り上がってないのよね、

はーあ・・・やっぱりミュージシャンが避ける地域のワースト3に

金沢が入るって噂は本当だったか

浅瀬まなぶ

・・・別に弁護するわけじゃないけど、みんな心の中では凄く

盛り上がってるんだぞ

心の中では総立ちでコールして、プチュヘンザイエイ

はいはい、なら体の外に出せばいいじゃん、プチュヘンザ！イエイ！

それができないんだよ金沢人は、盆踊りもほとんど無いしな

深沢夏穂

盆踊りも無いの？

日本最古のDJタイムが無いなんてどうかしてるぜ、金沢

浅瀬まなぶ

全くないわけじゃなくて、能登の方までいけばちゃんとあるんだよ、

江戸時代に金沢は、反乱を防ぐための政策として、民衆を団結させない

ように盆踊りが禁止だったんだよ、その名残で、盆踊りが少ない

あってもみんな遠巻きに見てるだけで、輪には入らない

でも心の中では、一緒に踊れたら楽しいだろうなって思ってる

ゆえに、心の中では盛り上がってる、以上、金沢の弁護終わり

金沢人がそうなのか、浅瀬君が盛り上がるのが苦手なのか

深沢夏穂

・・・俺が苦手なんだと思うよ、実際、全身で盛り上がる奴は盛り上がる、

盆踊りも踊る、LIVEでも立ち上がって声を出す、結局、

県民性なんかじゃなくて、俺自身が殻に閉じこもってるんだらうな

ごめん、そこまで追い詰める気はなかったんだけど

浅瀬まなぶ

いいよ、それができるやつらがうらやましい

変わりたいけどなにかひっかかって、さらけ出せないままにいる。

やりたい事も無いから、変わるきっかけもない

深沢夏穂

やりたい事・・・無いの？

浅瀬まなぶ

無い

深沢夏穂

と言いつつも、なんかあるだろ、若えの

浅瀬まなぶ

ないんだよ、本当に、高校生の頃からバイトばかりしていたから、

部活に打ち込むとか、友達とバンド組んだりしていれば

違った事になったのかもしれないな

やりたいと思った事をやれる奴がうらやましいよ

深沢夏穂

やっぱり、高校生活の過ごし方がまずかったのかな  
どうして？

浅瀬まなぶ

進学でも、就職でも、もっと将来の設計するべきだったのかもしれない  
人生設計を高校生にして失敗、以降、そんな人生・・・かな

深沢夏穂

どうして、自分の人生を否定するの？

浅瀬まなぶ

したくもなるだろ、ただ過ぎていくだけの毎日だと  
活かす事はできないのかな・・・

深沢夏穂

生きてきた経験を活かすことはできないのかな

あなたはく愛をく信じますか？

まあ、信じたいし、信じるよ

ではくそのためく運命の出逢いを信じますか？

・・・信じるよ

浅瀬まなぶ

なら大丈夫、私ね、愛する愛も、出逢いの逢いも、

深沢夏穂

アイを音にしたら一緒なだけじゃなくて、意味も同じだと思おうの

浅瀬まなぶ

出逢いには・・・うん、愛があつて・・・愛があるから出逢う

深沢夏穂

だから活力の活と書いて、活かす 自分を活かす事は自分が生きる事  
生きる事は、自分を活かす事なんだと思う。

やりたい事が無いという事は

物事を好き嫌いでとらえてないって事だから、偏見が無い証拠

客観的というか俯瞰というか、そんな感性を活かす仕事もあると思うよ

浅瀬まなぶ

・・・初めて言われたよ、そんな事

深沢夏穂

自分の人生、肯定したまえよ、あなたはく

浅瀬まなぶ

はいはい、あ、DJタイム終わった、戻る？

深沢夏穂

ん・・・私はもうちよつと・・・夜風に

浅瀬まなぶ

波にさらわれんなよ

深沢夏穂

大丈夫でーす、泳げますから

浅瀬まなぶ

それは良かった、じゃあな・・・

気のせいかな、話している時の彼女は震えていたようにも見えたが・・・

自分を活かす、考えた事もなかった

大人は皆、限られた時間の中で仕事をしている

アルバイトにしても、組織の中で限られた時間を

どうやって組織のために自分を活かすか、

それが時給となって現れているのだと思うが、

今の言葉を借りるなら、

与えられた命をこの世界でどう活かしていくのかが、

生きる事であり、人生となる、という事なのか・・・

しかし、あまりにも、果てしな過ぎて  
今の自分はどうすべきなのか、までは分からない

しばらくそう考えていたら、突然、救急車の音が鳴り響き、  
浜辺からは人が倒れているという声が上がリ  
救急隊員によってタンカで運ばれてくる人は・・・深沢夏穂だった

## 時間経過 波の音

病院に運ばれた深沢夏穂  
体調が悪くなりそのまま浜辺に倒れてしまった  
仰向けに倒れた事が幸いで命に別状は無かったものの  
もし、うつ伏せに倒れていたら呼吸ができなくなり、  
危険な状態になっていたかもしれないと  
病院まで付き添った僕に、医師がそう教えてくれた

深沢秋穂

あの、深沢の身内ですが・・・姉は・・・妹の秋穂です

浅瀬まなぶ

ああ、今はもう大丈夫みたいですが、まだ眠ってます

深沢秋穂

は・・・(安堵)・・・すいません、付き添ってもらって・・・

浅瀬まなぶ

いえ、じゃあ、僕はこれで

深沢秋穂

え？帰るんですか？

浅瀬まなぶ

え？ダメなの？

深沢秋穂

彼氏さんじゃなくて？

浅瀬まなぶ

彼氏？・・・え？・・・お姉ちゃん、昨日金沢に来たばかりでしょ？

深沢秋穂

え？そういう事ってないですか？

浅瀬まなぶ

その日のうちに？

深沢秋穂

はい

浅瀬まなぶ

・・・いや・・・ある人はあるんじゃないかな。俺はないな

深沢秋穂

はいはい、そうですね、はい、すいません、

浅瀬まなぶ

はい、ありがとうございます

浅瀬まなぶ

残念そうだけど・・・

深沢秋穂

そんな事無いですよ、あー！！！！残念！！！！！！

浅瀬まなぶ

おい

深沢秋穂

はい、まあ、そんなわけなんで、お疲れ様でした

浅瀬まなぶ

・・・妹さん・・・

浅瀬まなぶ

・・・妹さん・・・

深沢秋穂  
はい、そうです、秋穂です、姉がお世話になりました  
いや、似てるよ

深沢秋穂  
そうですね？顔、全然違うと思うんだけどなー  
顔っていうより、似てるよ、はい、うん、はい、似てる

深沢秋穂  
ふーん・・・  
・・・じゃあ、これで

深沢秋穂  
姉、病気の事・・・言っていました？

浅瀬まなぶ  
病気なの？

深沢秋穂  
あ、言っていないんだ、

浅瀬まなぶ  
じゃあ、婚約の事とか、ぶつちされた事とかも言っていないんだ  
いろいろ、ぶつこんでくるね

深沢秋穂  
じゃあいろいろと説明しますね、それもまた、いとおかし

浅瀬まなぶ  
いい、大丈夫、察します

深沢秋穂  
神奈川から金沢にきた事は

浅瀬まなぶ  
それは聞いた、神奈川県から石川県金沢市に昨日来た事は聞いた  
そうそう、せっかく婚約できたかと思ったら、振られるんだもん

神奈川にいる事が辛いんだろーね、ご縁あって金沢に住む事になって  
私は送りだけ一緒に来て、明日帰るところだったんですよ

浅瀬まなぶ  
そう

深沢秋穂  
ひどくないですか？その婚約者、元カレ、あ、家族か、

その家族、ひどいと思わないですか？

浅瀬まなぶ  
ひどい・・・事されたんだ？

深沢秋穂  
ずっと付き合っていた人がいて、指輪もらって、結婚する事になって、

ご両親に挨拶した時に持病で癲癇てんかんがある事を言ったらいきなりNG  
ご両親反対、

癲癇は遺伝するからって、そんなの迷信だっていうのに、  
あんたらの腐った価値観の方が遺伝してるじゃん！

ひどくないですか？

彼氏もそれに同調したの？

浅瀬まなぶ  
分からない、そうなんじゃない、そうなんだよ、きつと、

同調しようとしてしまいと結果的にこうなったんだから、

本当に好きなら守ってやればいいのに

まあ、そんな家族のいいなり男と結婚しなくて逆によかったのに、  
お姉ちゃん、私に似て繊細だからショックだったんだろーね

そんなこんなで金沢に来たわけです、ねえ、ひどくないですか？

浅瀬まなぶ  
まあでも、家族の問題って大きな問題だからね、

気にしない人もいるけど、気にする人も多いと思うよ

深沢秋穂  
浅瀬まなぶ

はい？じゃあそっちの味方って事ね、はいはい  
そうじゃなくて、俺はその光景を見たわけじゃないから、  
一緒になってどうこう言いたくないだけだよ、

味方とかそんなんじゃないんだけど・・・

味方だよ、味方ですよ、俺は親の反対とかは気にしないし、  
親も反対しないだろうし・・・

そう、味方っていいのは、いろんな見解、見方がある中で、

いろんな方向からの見方があるんだけど、

その上で、あなたに協力しますよ、味方ですよって事だから、

味方がいるって頼もしいわけで、

だからその人の味方をするって事と、

いろんな見方、見解をしているっていうのは同じようなものでさ  
似てる

え？

お姉ちゃんと同じ事言うんだね、似てる

・・・そのお姉ちゃんに教わった事だからさ

・・・お姉ちゃん、起きるまで一緒にいてくれませんか？

その方が喜ぶだろうし

浅瀬まなぶ

・・・俺でいいなら・・・

彼女が目を覚ましたのは、その1時間後の事だった

僕はそれを見届けたあと、家に帰った

どっと疲れ、ベットに倒れ込むように横になった時

彼女が今まで倒れた時、意識を失った時、どんな思いだったのだろう  
癪癪てんかんを持って過てんかんす人生・・・どんな思いなのだろう、と考えていた  
そのままゆっくりと眠りにつき

翌日、もう一度顔を見に、お見舞いに行く事にした

時間経過 波の音

深沢夏穂

浅瀬まなぶ

ごめんね、迷惑かけちゃって、妹も、はあ・・・いろいろ  
いい妹さんで

深沢夏穂

あの子私に似て無神経で大雑把だから、  
相手の都合とか考えない時があるの

浅瀬まなぶ

ああ、そっくりだね、あ・・・そうだ・・・これ・・・

僕は彼女が倒れた砂浜に落ちていた物、『腕時計』を渡した

深沢夏穂

あ・・・

浅瀬まなぶ

君ので・・・合ってた？

深沢夏穂

そっから・・・戻ってきちゃったか・・・

浅瀬まなぶ

多分、直せると思うけど

深沢夏穂

うんうん・・・治せたら・・・いいんだけどね

浅瀬まなぶ

・・・いつ退院できるの？

深沢夏穂

今日・・・でも夕方には帰る

浅瀬まなぶ

え？

深沢夏穂

海の家、クビになっちゃいました、さすがに初日で倒れちゃうと

そうなるよね、もうこれで働けるところなーし

お金なーし、生活するすべなーし、帰るしかなーし

持病あっても、働けるところはあるだろ

深沢夏穂

さすがに親も心配するしね、

海の家、知人の店だから、そこならいいだろうって

別に反対されても私は行くんだけど、どうせなら心配させたくないから

浅瀬まなぶ

いいのか？戻っても・・・

深沢夏穂

来たらスッキリした、さっそくいじりがいのある友達もできたし

短かったけど・・・来て良かった・・・

金沢、いいところだね、また旅行で来るよ

・・・夕方には・・・妹と・・・一緒に帰る・・・

・・・そうか・・・また来た時は連絡してよ、じゃあ・・・

浅瀬まなぶ

僕はそうして病室を出た。

少し寂しくもあったが、自分に何ができるわけでもない

引き止める、なんて、そんな事・・・

でも、最後に語った彼女は、あの時のように少し震えていて・・・

その姿が頭から離れずに、廊下を見つめた先には、妹の秋穂の姿があった

深沢秋穂

消去法ですネ

浅瀬まなぶ

はい？・・・なにか

深沢秋穂

引き止めるという選択肢は無い、ゆえに、何も言えない、できない

そもそも、病院まで付き添ったのも、

そのままほっておく事もできないから消去法で来るしかなかった

自分の意思で行動しているようで、実は流されているだけ、

浅瀬まなぶ

自分で決めているようで、それしか選択肢が無いだけ  
はいはい、そうだよ、何もできないだろ

深沢秋穂

行くなよ、この一言が言えれば、

浅瀬まなぶ

それだけで何かが変わるかもしれないのに  
変わらないよ、何も変わらない。生きていくには働かないといけません  
お姉さんは金沢では働く事が難しいようです、ゆえにお家に帰る、  
その通りだと思います

ドラマなら引き止めもするでしょうが、  
それって、言ってる本人の自己満足だろ

相手の迷惑考えたら普通しねーよ、無責任な事できねーだろ  
東京人ならできるんだろーけど、金沢市民は出来ないね

深沢秋穂

神奈川県民です

浅瀬まなぶ

一緒だよ、はいはい、違うね、全然違うんだしたね、  
はーい、言い直します

県民性は関係ありません、人種や職業の問題です  
俳優は引き止めても、一般人にはできません、

一般人はそんな大それた事できません

深沢秋穂

感情論や精神論でグイグイくるやつ苦手なんです  
はいはい、私は自分の意思のないやつ嫌いなんです

浅瀬まなぶ

違います、自分の意思で引き止めないんです

深沢秋穂

はいはい、そうやって逃げるんですね、

逃げ続けるんですね、残念、あー残念！

浅瀬まなぶ

誰が逃げてんだよ、今から向かうんだよ、海の家に

深沢秋穂

海の家？

浅瀬まなぶ

海の家を、クビにならなけりや、地元に戻る必要もなくなるだろ！

時間経過 波の音

僕はその足で、海の家へと向かった

そして、オーナーの、沖野ほだか、にかけあった

沖野ほだか

深沢夏穂を辞めさせるなって・・・ところであなたは？

浅瀬まなぶ

・・・友達です

沖野ほだか

そうはいつでもなー、また発作が起きたら大変だから

浅瀬まなぶ

でも、そう何度も起こる事じゃないそうで、

無い時は何年も無いんだそうです

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

でも、これをきっかけに、またすぐ発作が起こるかもしれないからさー  
そうかもしれないですけど、そんな事言ったら、癲癇てんかんを持たれた方、  
どこにも働けないじゃないですか

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

彼女の知り合いなんでしょうね、なんとかありませんか  
でもねー、あの子も承知した事なんだよ、納得してたよ  
そういう子なんですよ、

自分の意思よりも、相手の迷惑を考える子なんですよ

妹の方は・・・たまったもんじゃねーけど、

深沢夏穂は、ここに居たいんですよ、

あなたや、みんなの迷惑を考えて帰る事を選んだだけなんですよ

なんで友達のあなたに、そこまで分かるの？

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

・・・震えていたからです・・・彼女・・・深沢夏穂は震えていました。

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

金沢に来て良かった・・・いいところだったって・・・震えていました

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

・・・どうして震えるんだろうな・・・

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

・・・多分・・・本心だからです・・・

彼女は、本心で本音で話すとき、震えるんです・・・

怖いんだと思います・・・その想いが叶うのか・・・受け入れられるのか

そう言ってる自分にも怖いんだと思います、

そんな自分が強くいられるのか怖いんだと思います、

でも、その震えは・・・俺なんかと違って、

勇気のある震えだと思えます、

だから、ここで、この海にいて欲しいんです

海の家で働いて欲しいんです。

これは・・・俺の無責任で、勝手な行動ですけど・・・

彼女にはもう少し・・・ここにいて欲しいんです

いいよ

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

早っ！

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

いいよ

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

早っ！

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

いいよ

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

早っやー！

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

私も・・・そう思ってたの！

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

マジか！

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

私も元神奈川県民だからさ、彼女の気持ち分かるな

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

神奈川県民怖っ！

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

神奈川県民なめんなよ、でも、金沢市民もあなどれんな・・・うん

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

夏だねえ・・・あなたの意思は分かった、受け入れよう

浅瀬まなぶ

ただし、あなたが雇いなさいね  
は？

沖野ほだか

あなたもここで働くの、報酬は少し多めにあげるからね  
そのお金で、あなたが彼女を雇うの、  
そうすれば、私の迷惑にはならないよ

浅瀬まなぶ

貸し浮き輪歩合制にしてあげるから、バンバン貸しまくってね  
ちよっと待って、俺、泳げない

沖野ほだか

関係無い関係無い

浅瀬まなぶ

他に仕事あるし

沖野ほだか

関係無い関係無い

浅瀬まなぶ

いや、あるだろ

沖野ほだか

はいー？夏の間くらいいいだろ、

浅瀬まなぶ

そんな融通のきかない仕事なんか辞めちまえ  
なぜか叱られてる

浅瀬まなぶ

人は本気だから叱るんだよ

沖野ほだか

本気でできる仕事はいいよ、本気の場所には本気の人が集まる

本気で仕事ができるから本音で話せる、本気で遊べる

本気だからこそ、仲間には言えない事もある、それもまた、いとおかし…

テキトーに夏を過ごししてるヤツに海は何もしてくれない、

何も運んでくれない

夏だよ、本気の夏がやってくるんだよ

ナンパという名の出逢いや恋愛、大いに結構、

夏はいいよ、夏がいいよ、夏が好きだ！

浅瀬まなぶ

後半関係無くない？本気の話まではよかったけど

夏がどうこうは関係無くない？神奈川県民こんなヤツばかりじゃん

感情論や精神論でグイグイくるじゃん、

結局自分の話の方向に持っていくヤツばかりじゃん

やるのかやらないのか、どっちじゃん？

じゃんの使い方間違ってるじゃん、神奈川県民

浅瀬まなぶ

そんな神奈川県民の女の子、夕方の新幹線で帰るっていったな

沖野ほだか

北陸新幹線、便利になったね、金沢から東京まで2時間半！

こんなに近いのに、今日を逃したら遠くなっちゃうね

浅瀬まなぶ

分かったよ！迎えに行けばいいんだろ！

M : Blue Haze

人は、変わる、人と出逢い、人は変わる

変えてもらえる、今日出逢った人が、昨日までの自分を変えてくれる  
昨日までできなかった事が、今日できるようになる  
今日できるようになった自分が、昨日まで、できずにいる誰かを  
変えてあげられるようになる、そんな生き方をしてみたくなった。  
金沢駅 北陸新幹線の改札で彼女を見つけた

深沢夏穂

・・・お見送り・・・ですか・・・いい人だねー、君はー・・・  
来て良かったよー・・・金沢ー・・・

浅瀬まなぶ

自分を活かせよ

深沢夏穂

え？

浅瀬まなぶ

自分を活かせよ、お前が教えてくれたんだろうが

振られようが、病気になるうが、それでも生きてかなきやいけねーんだろ  
なら、なんかあるだろ、活かせば生きていけるんだろ

金沢でも活かせる場所あるだろ、生きていける場所があるだろ

まだ・・・帰るなよ・・・・・・行くなよ

深沢夏穂

・・・うん・・・

浅瀬まなぶ

一緒に・・・海の家で働こっ

深沢夏穂

うん！

なぜか、体が震えた、

そして彼女も震えながら、それでも力強く答えてくれた

夏はまだ始まったばかりだ、

ラジオからは 夏のナンバー、Blue Haze が流れていた

浅瀬まなぶ

日本人の大半は泳げると思うのだ  
泳げない!!泳ぎが下手

という風潮が気に入らない、本当に泳げない人間はと言えはいいのだ  
命に関わるといえはいいのか

親族が身を乗り出すくらいに止めればいいのか  
それでも、他人の答えは決まっている

・・・大げさな・・・と、それが気に入らない

だが、それ以上に気に入らないのは、一緒に海の家で働く事になった  
深沢夏穂、の妹、秋穂、もこうして一緒に働いている事だ

深沢秋穂

海は見るものじゃなくて、泳ぐものですよ、

ちよつとタコを素潜りで捕ってきます!とう!

はーい、頑張つて〜!やっぱ秋穂ちゃんいると違うねー

・・・あなたも頑張つて貸し浮き輪の営業してきなさいね

それなりに好調ですけど

まさかこんな才能があるなんて、私とは大違い

お前は男に声をかけるからダメなんだよ、あ、あれか、

女には意外とビビつてんのか

どうもね、金沢の女性には入って行きづらいナニカがあるといいますが

俺も湘南の男に声かけろつて言われたらキツイよ、そんなもんだよ

ホームとアウェイの違いね、いや〜大したものだー

波打ち際でカップルを見かけたら

貸し浮き輪投げるね、いらなかつたら、そこに置いていて、

気に入ったら、後でそこまで返しにきてよ、500円でいいから

仲良し女子3人組を見かけたら

浮き輪いるでしょ?はい!、お金いいから、返すついでに

後でなんか飲んで行ってよ

若い男子を見かけたら

お前ら浮き輪も持たずに何やってんだよ、

ホラ、ハンティング頑張つてこい!

成功したらもう一つ借りに来いよ

金沢男子はいい子ばかりだからね、

ハンティングに成功したらちゃんと、

戦利品連れてご飯食べに来てくれるし

失敗しても、すんませんシタ!つて、浮き輪代払いにきてくれるのよー

閉鎖的な金沢人、意外とやるね〜、見直した

深沢夏穂

浅瀬まなぶ  
沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

ホームでは意外とツエーゲンよ、金沢、J2でも頑張ってます  
サッカーチームの話ね、ツエーゲン金沢  
金沢弁は、語尾にゲンが付くんだよ、強いんだぞ、  
っていうのを強いげん、っていうげん

深沢夏穂  
浅瀬まなぶ

じゃあ神奈川だと、強えーじゃん、強えーじゃん神奈川  
それはまんまだろ、  
しかも、強えーじゃんだと、相手が言ってる状態じゃん  
ツエーゲンは自慢している状態なんだよ、ドイツ語ともかかってんだよ  
ドイツっぽくない？バイエルン、ドルトムント、ブレーメンにツエーゲン、  
ドイツは日本人選手が行きやすい環境なんだよ

深沢夏穂

はいはい、はいはい、はい、はい

浅瀬まなぶ

お前、サッカーの事興味無いだろ

深沢夏穂

受け流す技量も必要だぞ、スルースキル

浅瀬まなぶ

いやここはキラーパスを出してよ

沖野ほだか

ともあれ、良かった、いろいろあったけど、めでたしめでたし

浅瀬まなぶ

全然よくない、俺、あいつ、いらなと思う

深沢秋穂

ぶはあー！タコ取れなかったー！スミはかれた！スルーできなかった！  
ワンモアチャンス！行ってきます！

浅瀬まなぶ

いいよ、戻れよ、いろんな意味で

深沢秋穂

けっこう頑張るんですね、口だけかと思ってたんで

浅瀬まなぶ

口だけはお前だろ、グイグイグイ感情だけで押し込んだきたあげく  
働くと思ったら、ずっと海の家で、食っちゃ寝食っちゃ寝

深沢秋穂

見張りですから、ちゃんと仕事してるかどうか見届けないと  
お姉ちゃんは任せられないなあ

浅瀬まなぶ

そんなお前が仕事しろよ、寝る、泳ぐ、いない、寝る、泳ぐ、いない  
この繰り返しだろ

深沢秋穂

いない時、何してるか、興味無いですか？

浅瀬まなぶ

うん、ないね、

深沢秋穂

ここにいる以上は、仕事をして欲しいと常々思っております

浅瀬まなぶ

あれ？あそこに何か・・・  
どうした？

深沢秋穂

波打ち際でドーン！

浅瀬まなぶ

ちよっ、お前っ！オラ！、誰か！浮き輪！

沖野ほだか

貸し浮き輪プリーズ！、マジで！

深沢夏穂

いいね、誰も助けようとしなるところがいいねえ

深沢秋穂

もうちよっががんばってもらおう

深沢秋穂

うん、いい機会だ

青山なつき

大丈夫ですか？つかまってください

浅瀬まなぶ

ありがとう、本当にありがとう

青山なつき

貸し浮き輪、さっそく役に立ちました

浅瀬まなぶ

あ……

青山なつき

使わないから返しに行こうかと思ってたら、貸してくれた人が

溺れてるんだもん

浅瀬まなぶ

おかげで、役に立ったでしょ？

青山なつき

はい、使用料500円になります

浅瀬まなぶ

えっと……ジュースおごる感じでいいですか？

青山なつき

オッケーです、なつきです、よろしくね

沖野ほだか

あらく、夏は出逢いの季節

浅瀬まなぶ

……助けろよ……ええんま、だらんねーけ、なんしとれんわいや、

青山なつき

今の言葉なーに？

浅瀬まなぶ

金沢弁

青山なつき

教えて教えて

沖野ほだか

一人一人に怒りの金沢弁3連発

深沢秋穂

さーで、タコを素潜りで捕ってこよつと！

深沢夏穂

あ……少し曇ってきたかな……金沢は晴れが少ない……

沖野ほだか

神奈川は晴れが多いからね、でもすぐに慣れたでしょ？

深沢夏穂

うん、雨は少し困るけど、曇り空は嫌いじゃないかな

人の心は天気と似ていて、晴れもあれば、曇りの日もある

いつも晴ればかりはしんどいかな

沖野ほだか

それに曇りが多いと、晴れた時の喜びも大きいから

一緒に、金沢にいと、晴れが嬉しくなるのよね

永遠に続く晴れよりも、曇りがあるから、晴れた時の嬉しさは格別

なんか、人生哲学みたい……うむ、いとおかし

まあそんなわけで、心が曇りのち雨男と、

新規のお客さんにジュース持っていてあげて

深沢夏穂

はーい、はいはい

お待たせしました、オリジナルカクテルジュース、ブルーヘイズです

綺麗～あんがと

あんやと～でもいいんだよ

そうなん？あんやと

上手い上手い

浅瀬まなぶ

はーいはい、私はこちらの響きの方が好きかな

青山なつき

方言好き、東京の言葉って、たまにきつい時があるから、

方言だとほっこりするね

浅瀬まなぶ

ほやる？俺もそっちの方がいいと思うげんで、東京の人って  
どこいっても標準語やし、金沢住んでも金沢弁になじんでくれんもん  
はいはい、神奈川県民ですよ、  
君は少し、しつこいところがあると思うぞ

深沢夏穂

曇天

青山なつき

空、どんどん曇ってくるなく、でも私しつこい男性の方が好きかも  
わがまま言ってくれた方がカワイイって思うし、  
ちよっとくらいネチネチしてる方が、抱きしめ方もねばりがあつて  
愛されてるなーって思うもん  
なつきちゃんは分かってるね  
ねえ、ご飯はサツと食べる方？ジツクリ食べる方？  
ジツクリ食べる方かな  
じゃあ、食べ終わった後は、すぐに片づける方？  
それとも、しばらく残して時折つまんだりする方？  
時折つまんじやう方かも  
男のご飯の食べ方と、エッチの仕方は同じなんだって  
へえ〜そうなんだ  
へえ〜そうなんだ

深沢夏穂

雷雲

青山なつき

あ、空、もつと曇ってきた、ゴロゴロ言ってる、怖い  
大丈夫、金沢の天気はこんなもんだよ、すぐに晴れるよ  
はーい、ごゆっくりどーぞー

深沢夏穂

青山なつき

・・・ねえ、あの人と付き合ってるの？

浅瀬まなぶ

え？なんで？

青山なつき

そんな感じに見えた

浅瀬まなぶ

全然、まあでも・・・やっぱいいや

青山なつき

なにになに？気になる

浅瀬まなぶ

ただのバイト仲間とおもったけど、一応雇い主なんだよね

青山なつき

彼氏彼女じゃなかったか

浅瀬まなぶ

なつきちゃんは彼氏いるの？

青山なつき

別れた・・・やっとなつと別れてくれた

浅瀬まなぶ

やっとなつと？

青山なつき

ちよつと困つた愛し方をする人だったから、

浅瀬まなぶ

お部屋の中を勝手に調べたり、男友達の悪口言ったり

友達が悪口はやめてって言ったなら、じゃあそいつの方が大切なのか？  
って怒鳴るし、でも別れたい、っていったら、秘密ばらすぞ、とか  
うわー、DVとかも？

青山なつき

イケメンだし、それさえ無ければいい人なんだけどね、  
仕事もやりにくくなっちゃうから

浅瀬まなぶ

なんの仕事？

青山なつき

あー！女の子の仕事は聞いちゃだめなんだよ

年齢、住所、仕事、この3つは聞いてはいけないタブーなんだよ！

浅瀬まなぶ

それはホストだろ！俺、一般人！

青山なつき

そっか、そうでした、テレビの仕事してるの

浅瀬まなぶ

へえ、芸能人ってやつか

青山なつき

あ、知らないって顔してる、テレビ関東とか東京WXとか出てるんだよ

浅瀬まなぶ

どっちも金沢では見れないし

青山なつき

じゃあしょうがない！

そんなわけで、やっと自由になれたから、

北陸新幹線で一度来てみたかった金沢へとやってきました

じゃあ、ゆっくりしてってください、俺は仕事戻るわ、はいコレ

青山なつき

日焼け止め・・・持ってるし、しかもSPF53万って・・・

どんだけ肌弱いんだよ、金沢男子

浅瀬まなぶ

肌、大切にしなきゃいけない仕事だろ、それに

青山なつき

ありがとう、返しに来ると言う口実ができました

浅瀬まなぶ

正解！

青山なつき

ねえ、仕事はいつ終わるの？

浅瀬まなぶ

今日は夕方かな

青山なつき

オススメのスポットへ連れて行って下さい

浅瀬まなぶ

考えとくわ

夏の海は、朝、昼、夕方と、その姿を変える

日中、あれだけ騒がしかった海も、

夕方になると、皆、その口を閉ざし始める

誰か一人が叫んでも、浜辺一面に響くその音が虚しく消え去り

他の誰かは、尚更、口を閉ざすのだ

青山なつき

お仕事お疲れ様でした、はい、お借りしたSPF53万の日焼け止め

浅瀬まなぶ

本当に待ってたの？、ちょっと待ってね、一人送ってかなきゃいけなくて

深沢夏穂

沖野ほだか

浅瀬まなぶ

沖野ほだか

浅瀬まなぶ

沖野ほだか

浅瀬まなぶ

沖野ほだか

浅瀬まなぶ

青山なつき

って・・・おい、送るよ

大丈夫だよ、すぐそこだから、観光客は大切にしないとね

あーあー、全く

なんかありました？

あなた、マジですか？マジで言ってますか？

女性、特有の、心と体の問題？

はーい、グーパンチ

痛い、パワハラ、ブラック企業

まあいいや、お客さん、せっかくあなたを待ってたんだからね、

送ってあげなよ

マジか

よろしくお願いします

そのまま彼女を助手席に乗せ、海岸線を走った

内灘海岸から北へ進み、降り立ったのは千里の浜と書いて、千里浜だ。

青山なつき

浅瀬まなぶ

青山なつき

浅瀬まなぶ

青山なつき

浅瀬まなぶ

青山なつき

浅瀬まなぶ

ずっと走って変わらず海だけど、おすすめのスポットはまーだ？

ここ、なぎさドライブウェイ

浜辺だけど・・・って、海に突っ込むよ！危ない！

大丈夫なんだよ、コンクリートみたいに固い砂浜だから

車が走ってもいいようになってるんだ、世界的にも珍しいんだよ

すごーい、海を走ってるみたい

満足されましたか、ほんの少しの海の道

うん！・・・ねえ、ちょっと止めて、ここでゆっくり、海が見たい

了解

僕は車を止めて、波打ち際を見つめていた

無言・・・という時間も、悪くないものだ

夕陽が沈み、空が深い青色へ変わる頃、僕は話し始めた

浅瀬まなぶ

青山なつき

浅瀬まなぶ

青山なつき

浅瀬まなぶ

青山なつき

浅瀬まなぶ

芸能の仕事を始めたきっかけて何？

スカウトされたんだ

やっぱ住む世界が違うか・・・

同じだと思っよ

方や東京という都会、方や金沢という地方、全然違うよ

金沢の人は恋愛しないの？

するよ

青山なつき  
浅瀬まなぶ

じゃあ恋愛はするけど、初恋の人とそのまま結婚して幸せになれるんだ  
そんなのほんの一握りだよ、みんな恋して、傷ついて、傷つけて、  
忘れられる人もいれば、忘れられない人もいて、その繰り返し  
同じでしょ、東京の人もちゃんと恋で傷ついてるんだよ  
もしかしたら、それ以上に傷つけてしまってる・・・

青山なつき

だから私たち、同じ世界に住んでいるんだよ・・・  
それにスカウトされたタレントでも、続けていられる人はほんの一握り  
ほとんどは結果が残せずにクビになるか、自分から辞めちゃうの  
私も、何度も迷った時があるんだ、今もたまに思うけど  
それでも、今も、続けていられる理由は？

浅瀬まなぶ

本気になるから

青山なつき

本気・・・

青山なつき

撮影の現場ですごいんだよ、カメラを回す人がいて

その人はレンズの先に映る私達を本気で見てる。

そして私達に照明という光を当ててくれる人がいて、

その人たちは光の先を見ている、つまり、私達タレントを見ている

私個人じゃなくて、光の当たった私達を見ているの、本気で・・・

私個人が、どんな人間だろうと関係無いの、本気で、私を見てくれる。

そんな人達に囲まれていたら、

私も、私以上の私になろうって本気になる

そんな私を本気で応援してくれる人達がいてくれる

私・・・多分、この世界を辞めたら、ただの私になってしまうと思う

楽かもしれないけど・・・辛い事が無くなるかもしれないけど・・・怖い・・・

私・・・普段の私よりも、本気になるって私の・・・

本気を演じている私の方が本当の私だと思う・・・

だから、私が私じゃなくなる事が・・・怖い・・・

だから辞めない、ずっと続ける

そっか・・・なら・・・

せめて恋人くらいは自分の事、分かって欲しいよな・・・

・・・うん・・・大丈夫・・・私・・・本気だから・・・頑張る・・・

は、やっぱり世界違うわ、俺、そんな世界に住んでない

今は隣同士だよ？どうしたらこの壁、無くなる？

・・・壁なんか無いよ・・・同じなんだから

壁・・・作ってたのは俺だよ・・・

ギューっ！と、今、手を握りました

ありがとう・・・おかげで、壁が無くなったかも

青山なつき

浅瀬まなぶ

青山なつき

じゃあ、今は離しちゃダメよ

浅瀬まなぶ

僕たちは同じ世界にいるのだと、この時、感じた  
本気に懂れて、本気で生きたくて、だからこそ  
不安で、怖くて、寂しくて、切なくて・・・  
それでも前を向いていたいから、誰かに包んで欲しくなる  
そんな、弱く、儂い人間同士なのだ、感じた  
握り合うその手は、真夏の季節でも暖かくて・・・心地よくて・・・  
時が止まったかのように、二人だけの時間になった  
それでも永遠には続かずには時は刻み続けている  
空はゆつくりと薄い青色から、  
やわらかなオレンジ色へと姿を変えていった

ふいに、どちらかの体がラジオに触れて流れてきた曲は  
夏のナンバー Blue Haze

### 第3話

浅瀬まなぶ

幸運の女神は気まぐれだという  
いつ、どこに、誰の下へとやってきてくれるのかは分からないが、  
やってきてくれた人には必ず幸せを与えてくれる  
素敵な夢を見せてくれる  
しかし、その女神の機嫌を一度そこねてしまうと、  
とたんに興味が無くなり  
また、別の人のところへと行ってしまふのだという  
昔、図書館で読んだ神話にそう描かれていた事を思い出した  
今思うと、一瞬の幸運とは、まさしく夢のような物語であり  
長く続かないのであれば、それは幻と変わらないのではないだろうか  
朝目覚めると、さっきまでの物語が夢なのか幻なのか、分からないが  
それでも時が経てば、今流れているこの時間が現実なのだ、気付くのだ

青山なつき

おはよう

浅瀬まなぶ

おはよう

青山なつき

手・・・繋いでない・・・離しちゃダメって言ったのに

浅瀬まなぶ

ずっとは繋いでられないよ

青山なつき  
今だけ？・・・あーあ・・・あーあ！  
なに？

青山なつき  
あーあ、前の人は、嘘でも繋いでくれたんだけどな  
・・・嘘でも・・・よかったの？・・・

青山なつき  
冗談・・・言いたくなっただけ・・・ねえ・・・夢に私、出て来た？  
いや、見てないよ、気が付いたら、起きてた

青山なつき  
そうなんだ・・・私は見たよ、夢  
どんな夢？

青山なつき  
教えなーい・・・もう覚めちゃったしね・・・行こ

浅瀬まなぶ  
うん・・・

僕らは無言で海岸線を走り海の家へと戻ってきた

浅瀬まなぶ  
ごめん、忘れ物したからちよつと待ってて、その後、ホテルまで送るから

と青山なつきに告げて、車を降りた先には、秋穂の姿があった

深沢秋穂  
あ・・・あるじゃないですか

浅瀬まなぶ  
何が？

深沢秋穂  
出逢ったその日に、そういう事ってないですか？って聞いたら

ある人はあるんじゃないですかね、僕はないですね  
って、あるじゃないですか

浅瀬まなぶ  
ごめん、なんの話？

深沢秋穂  
はいはい、いいですよ、別に、夏ですから、  
本気なのか錯覚なのか夢なのかどうなのか

嗚呼、でも空は明けて夢からも覚めちゃった、  
みたいな夏ってありますよね

浅瀬まなぶ  
そうだね、あるかもね

まあいいんじゃないですか、錯覚でも本気だったなら  
本気じゃない人に夏はやってこないですから

深沢秋穂  
オーナーの、沖野ほだか、みたいな事いうね

まあ姉妹ですから、似るでしょうね

浅瀬まなぶ  
は？姉妹？

深沢秋穂  
あ、言っただけですか？姉妹なんですよ、母親は違いますけど

あ、私とお姉ちゃんのお母さんは一緒ね

浅瀬まなぶ

そう……

深沢秋穂

そうか、知らなかったのか、じゃあ、結婚して金沢に嫁いだはいいけど  
お別れする事になって、それでも金沢に残る事にした話も知らないのか  
お前がそうやってぶっこんで来なけりや、

浅瀬まなぶ

何もかも知らないままで済んだんだけどね

深沢秋穂

じゃあ何もかも説明しますね

浅瀬まなぶ

あのさ、君、個人情報保護法って知ってる？

深沢秋穂

聞いた事あるかもー

浅瀬まなぶ

大人は知らないじゃ済まされないから調べときなよ

深沢秋穂

で、お前は、こんなに早くに何やってんの？

浅瀬まなぶ

個人情報保護法

深沢秋穂

ああいい、いいです、じゃあ、またあとで、

浅瀬まなぶ

ちよつと、忘れ物取ってくるわ

深沢秋穂

はいはい……さて……と……コンコン

青山なつき

……はい……なんででしょうか？

深沢秋穂

……青山なつきちゃん……ですよ？東京WX、良く見えます

青山なつき

あ、家、神奈川なんでギリ映るんで

深沢秋穂

そっか……

青山なつき

金沢にいるって事は……やっぱり辞めちゃうんですか？

深沢秋穂

アンチにもめげずに、なんでもトライする姿……

青山なつき

けっこう好きだったんですけど

深沢秋穂

……ううん……辞めないよ、確認しにきただけ

青山なつき

良かった、応援してます。あ、でも、二人の関係は、応援しません

深沢秋穂

おっと……そう来たか……大丈夫、今までの夜は開けたから

浅瀬まなぶ

おおーい！何やってんだよ！

深沢秋穂

では！また東京で！

浅瀬まなぶ

ハアハア……なんの話をしてんだよ

深沢秋穂

さーよーならー

青山なつき

見られちゃったね

浅瀬まなぶ

いいよ、別に

青山なつき

よくなーい、あのね、私、一応、ゲーノージンなんだぞ

浅瀬まなぶ

あ……ごめん、でもあいつ口は堅く……堅くないな……ごめん

青山なつき

いいよ、私はやましい事なんて何も無いから

浅瀬まなぶ

・・・ごめん・・・

青山なつき

なんか急に謝るようになったね

浅瀬まなぶ

あ・・・えっと・・・

浅瀬&青山

ごめん

青山なつき

あはは、謝るタイミング、見切りました。

知ってる？武道では、相手に間を見切られた方が負けなんだよ  
よく知ってるね

浅瀬まなぶ

DV壁の男がそう言ってた、あれってやっぱり依存してたのかな

浅瀬まなぶ

・・・どうなんだろう

青山なつき

ウソ、言ってみただけ・・・

・・・あーあ・・・もう少し意地張って突っかかってくれた方が、  
張り合いあるのになあ・・・

じゃ、見切った私の勝ちという事で、金沢駅まで送ってもらえませんか？  
金沢駅まで？

浅瀬まなぶ

北陸新幹線、よく考えたらいつでも来れるしね、お土産はいらない

浅瀬まなぶ

そっか

青山なつき

また来ていい？

浅瀬まなぶ

え？・・・うん・・・いいよ

青山なつき

何、その間？

浅瀬まなぶ

え・・・あ・・・

青山&浅瀬

ごめん

青山なつき

分かりやすっ！

浅瀬まなぶ

もっとポーカーフフェイスにならないと女の相手はできないよ

浅瀬まなぶ

俺、一般人だから

青山なつき

・・・さよなら・・・ここでいいよ、タクシー使うから

朝日を背に、そこで彼女とは別れた

空は完全にいつもの明るさを取り戻し、いつものように海は賑わう  
寝不足に、夏の日差しは容赦無く降りそそぐ

深沢夏穂

どうした？若えの？いつもの貸し浮き輪の営業行ってきなよ

浅瀬まなぶ

もう自分、いいよ、貸し浮き輪は、今日は中で焼きそば作ってます

深沢夏穂

やっぱり怒ってる？助けなかった事

浅瀬まなぶ

ああ、そうだったけ、怒ってないよ

深沢夏穂

そうだよ、足の着く場所だったし

浅瀬まなぶ

え？！！！！

深沢夏穂

え?!?!!

浅瀬まなぶ

足・・・着いたの?

深沢夏穂

着いたよ・・・だから助けなかったんだけど・・・気付いてなかったんだ

浅瀬まなぶ

いや・・・知ってたよ

深沢夏穂

いや、嘘でしょ、超パニクッてたし、

浅瀬まなぶ

貸し浮き輪プリーズ!貸し浮き輪プリーズ!プチュヘンザプリーズ!

深沢夏穂

プチュヘンザは言っただけ!

言っただけで、なぜかバンザイみたいなポーズになってたからさ

水中で手をあげたらそりゃあ沈むぜ

しかもそのあと、マジで切れてたよ、

金沢人って怒ると外国語になるんだね

どこが?

浅瀬まなぶ

エンナマ・ダラと、ナンシー、と、レン・ワイヤ みたいな

深沢夏穂

ええんなま、と、だら、と、なんしとれんわいや、だろ

浅瀬まなぶ

ごめん、標準語に直して

深沢夏穂

ムッカー、アーモウ、バカジャン、チョマテヨ・ナニヤッテンネン

浅瀬まなぶ

いやいや、外国語みだし、

深沢夏穂

っていうか、後半はキムタクと関西弁だったし

浅瀬まなぶ

波打ち際でドーン

深沢夏穂

あー!

浅瀬まなぶ

はい、さらに強めにドーン

深沢夏穂

ちよっと、待って、ちよ待てよ、押さないですよ!これ以上押さないですよ!

浅瀬まなぶ

絶対押さないですよ!

深沢夏穂

はい、お約束、ドーン!

浅瀬まなぶ

あー!もう!信じられない、戻らないと着替え無いの!

深沢夏穂

だって押せっていうから

浅瀬まなぶ

そんなネタやってない!はいはい、もういい!若えの、

深沢夏穂

これが平泳ぎだ!

浅瀬まなぶ

悔しかったらついてきな!、スイー、スイーっと♪

浅瀬まなぶ

全然悔しくない、騙されませーん、

浅瀬まなぶ

さ、焼きそば作ろっと、すぐ戻ってこいよ

と、深沢夏穂に背を向けた瞬間、彼女の持病である、癲癇を思い出した

浅瀬まなぶ

おい!夏穂!それ以上泳ぐなって・・・

深沢夏穂

泳がないよ、あー耳に水入った、っていうか君がすぐに戻ってきたね

浅瀬まなぶ

・・・人手・・・足りてないし・・・

深沢夏穂

お前に給料払ってるの俺だから、サボらせねーよ

浅瀬まなぶ

ふふー♪、優しい人だねー君は、少し、しつこくて、意地っ張りだけど  
・・・悪りーな・・・調子に乗り過ぎた

深沢夏穂

あら、素直

浅瀬まなぶ

意地張ってばっかりだよ

深沢夏穂

優しいねー、いい子だー

浅瀬まなぶ

だから違うって

深沢夏穂

あ、褒められるのには慣れてないと見た！かわいいねー

浅瀬まなぶ

やめろって

深沢夏穂

照れるところもかわいいねー

浅瀬まなぶ

しつこいんだよ！お前は

深沢夏穂

あ、怒った、ごめん、調子に乗り過ぎた、

出逢った時みたいに暗かったから、つい

俺は暗くねえ！でもいいよ、別に

浅瀬まなぶ

・・・あの子はちゃんと送ったの？

深沢夏穂

・・・送る前に振られたよ、一人で帰った

浅瀬まなぶ

振られたの？振ったんじゃない？

深沢夏穂

なんで俺が振るんだよ・・・振られたの・・・

深沢夏穂

・・・ふーん・・・でも君、女心分かってる風に見せて

実は全く分かってないからなあ

知らない間に、傷付けてるんじゃない？

・・・秋穂から聞いたの？

ん？なんで、秋穂が出てくるの？

いや、なんでもない、姉妹揃って俺をイジメるなよって話

おーい、心の中は曇りのち雨男君、ちよつといいかな？

はあ・・・なんでしようか・・・

いってらっしゃい、焼きそば作っておくよ

波

浅瀬まなぶ

思えば、夏には恵まれているのかもしれない

だが、この夏に起こる様々な出来事は恵まれているというよりも

振り回されている、特に女性に

女性が僕の振り子をあちらへ、こちらへと振り回す

時間と共に振り子はゆれ、運命も右へ左へと揺れ始めている

浅瀬まなぶ  
沖野ほだか

東京へ？・・・

東京じゃなくて湘南、神奈川県ね、まあいいや

ある女性がオーナー兼店長をやってる喫茶店なんだけど、  
結婚と出産で大変らしくて、新しい雇われ店長探してるみたいなの  
もしかしてそれも、姉妹ですか？

浅瀬まなぶ  
沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

いい感してるねえ、分かってきたじゃん、私の姉、母親は違うけど  
あなたたちのお父さんって・・・

沖野ほだか

そう、変わった人で、女を惹きつける才能はあるんだけど  
主導権握れないから、女の方からアタックしちゃうんだって  
で、主導権握られ過ぎて、俺は自由に生きたいんだ！って

意味不明な事を叫んで一人で出て行っちゃって、新しい環境でも  
その繰り返し、おそらく学習機能が魂レベルで付いてないんだなあ  
はい、残念

浅瀬まなぶ  
沖野ほだか

それで、ご兄弟が沢山いらっしやるわけか

しかも全部娘、まあでも、姉妹みんな仲いいからね

浅瀬まなぶ

そこはパパの才能に感謝感謝  
どんな才能だよ

沖野ほだか

優れた男の周りには女が沢山集まるかわりに、みんな仲悪いのよ  
表向きは仲いい風なんだけど、裏では悪口言いたい放題

その点、馬鹿で駄目な男の周りにも女は集まるけど  
みんな仲良くなっちゃうの

浅瀬まなぶ

その心は？

沖野ほだか

男がダメだと、女は力を合わせて支え合う

浅瀬まなぶ

山田クーン、座布団持って行って

沖野ほだか

いやいや、1枚でしょ、むしろ2枚

ようは、いじりがいのある男の方がいいって事

浅瀬まなぶ

あなたも？そう私も！あいつはこんなところがさく、分かる分かる！  
って、男の愚痴で共感できちゃうの、女は共感する生き物だから  
つまり、それで姉妹で仲が良かったため、金沢にも湘南にもお店があり  
交流があると

沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

うん、そういう事、できない？  
できるか

沖野ほだか

邪魔ねーって

浅瀬まなぶ

邪魔あるわ、障害だらけやわ

沖野ほだか

人は障害を乗り越えて強くなる

浅瀬まなぶ

ちよっと待って、今、まるで俺が弱気で駄々をこねているみたい

沖野ほだか

いい加減、覚悟を決めて

浅瀬まなぶ  
沖野ほだか

おかしい、何かがおかしい、どこで掛け違えた、この流れ私ね、あなたは金沢よりも東京の方が合うと思うんだ  
金沢という閉鎖的な街だと、君の個性が活かせるどころか、抑え込まれている気がするのよね、

その点、東京だと活けると思うなあ

さつきから東京って言ってるけど、神奈川県でしょ

浅瀬まなぶ  
沖野ほだか

この場合は東京でいいの

浅瀬まなぶ

全然分らない、東京の活用法が分からない

沖野ほだか

方言と一緒に、住めば慣れるよ、慣れるよ住めば

浅瀬まなぶ

行けば分かるよ東京、個性活かせよ東京、それが俺の TOKYO、  
Dラップで活かせなんて言ってるねーよ・・・俺の個性って？

沖野ほだか

気付いてないでしょ？君の個性は、曇りのち雨

浅瀬まなぶ

おい

沖野ほだか

クラウド からの レイン

浅瀬まなぶ

英語で言っても一緒です

沖野ほだか

アンド サンシャイン

浅瀬まなぶ

うわー、カッコイイ

沖野ほだか

雨の後には虹が指すからね、レインボーでもいいよ

浅瀬まなぶ

どこまで本気なんだよ

沖野ほだか

全部本気だよ、私の個性はフェイクと見せかけてのリアル・・・

浅瀬まなぶ

からのフェイク

浅瀬まなぶ

おい、あーもう、このやりとりもういいです

沖野ほだか

個性の事は分かったんで、でも、他にも人材はいるでしょ

浅瀬まなぶ

姉妹同士、ほだかさんなら確実だと思いますよ

沖野ほだか

私はここから動く気は無い

浅瀬まなぶ

何この説得力

沖野ほだか

まあ人材はいない事も無いけど、君なら合うと思ったから

深沢夏穂

私もいいと思うよ

浅瀬まなぶ

お前まで・・・

深沢夏穂

きつかけを自分で作れる程、人は万能じゃないと思うんだ

沖野ほだか

きつかけはいつも人が与えてくれるものだと思うの、才能も一緒に、

深沢夏穂

本当は誰一人才能なんて無いんだよ・・・私達・・・

浅瀬まなぶ

・・・最初は・・・何も持っていないんだよ・・・

沖野ほだか

それを誰かが・・・君なら似合うんじゃないかって・・・

浅瀬まなぶ

合ってると思うよ・・・って・・・

深沢夏穂

才能の種を与えてくれるんじゃないかな・・・うん

沖野ほだか

君は今、サンシャインとレインボーの種を貰ったから

浅瀬まなぶ

それを睨かすかどうかは君次第

・・・なんだよ、お前ら姉妹なんなんだよ、  
人をあっちこっちに振り回して

なんなんだよ、秋穂も、どうせどっかで聞いてんだろ  
姉妹で寄ってたかってイジメやがってよ

深沢夏穂

あの子なら今アルバイト中だからいないよ

浅瀬まなぶ

・・・アルバイト？

佐藤里香

あなたねえ、お客さんをよく見るのもいいけど、

仲間にも目を配った方がいいよ

あなたからの安い給料で、東京から来た姉妹二人がやっていけるわけ  
無いでしょ。秋穂ちゃんは、新聞配達のアバイトしてるの

早朝から働いて、夕刊までやってるんだよ、見れば分かるだろーに  
まあ、そんな朝早くに会う事もないだろうから、仕方ないけど

・・・会ったよ・・・会ったけど、分からないよ！俺には分からないよ！  
人が当たり前に気付く才能なんて俺には無えよ！  
あつたら欲しいねえ・・・あつたら・・・あつたらいや・・・

浅瀬まなぶ

こんなダラな事になってねーわいや！  
なんねんで、俺だけなんも知らんでダラみたいやがいや

みんな若つけー時から気付いとれんで、  
気付く奴は気付いて先に行くげんで

俺みたいなダラは分からんままウロウロしとるしかねーげんていや！

僕はまるで、駄々をこねる子供のようだった

やり場のない怒りを、自分が原因だと分かっているからこそ、

わだかまりを家族にぶつけるしかない子供のようにな、

ただムキになって、ぶつけるしかなかった

そして家出をする子供のように外へと飛び出した

深沢秋穂

うるさいなあ、何やってるんですか

浅瀬まなぶ

聞いているし！いたのかよ！

深沢秋穂

今着いたんですよ、隣の家が親子喧嘩しているような声でしたよ

浅瀬まなぶ

俺の声が大き過ぎただけだね、

悪い・・・配達、もう終わったのか？おかえり・・・

深沢秋穂

はい・・・

ただいま。スマホ忘れたから取りにきただけですよ、

すぐバイトに戻るから・・・って、なんで知ってるんですか？

もー、流れで言っちゃったよ、

いつもみたいに、サボってんじゃありません！  
仕事しなっさい！、お前は何やってんですかあああ！  
とか言ってくればさー

浅瀬まなぶ  
深沢秋穂  
浅瀬まなぶ  
まあ多少のアレンジを加えて、もはやオリジナルの領域ですが  
尚更似てねーじゃねーか、

深沢秋穂  
アレンジどころか、まず原型から似てねーんだよ  
はいはい、じゃあちよつとスマホ取ってきてもらえます？  
カウンターの下に置いたんで

浅瀬まなぶ  
自分で行けよ！

深沢秋穂  
いくら個人情報保護法があっても見られたら意味ねーだろ  
いや、見ないでしょ、あなたは

浅瀬まなぶ  
深沢秋穂  
浅瀬まなぶ  
そんな勇気無さそうだし  
そっちかよ！

まあ、そんな事をする人間じゃない事くらい分かりますよ

．．．あとは？．．．

え？

あとは．．．何が分かるんだよ

深沢秋穂  
．．．うーん．．．女と喧嘩して、自分が悪くなくても、最後は折れて

自分から謝ってきそうだね

あと．．．人から指摘されても

プライドの高さから実行しないように見えて、

意地張りながら、駄々こねながらも、最後はやっちゃう人かな

そんなところはお父さんと似てるかも

．．．．お父さん．．．何やってる人？

んとね．．．セーラームーン

は？

あ、今はキューティーハニーか、あ、違う、プリキュアだ、

お父さんプリキュア

ごめん、怖い怖い、どういう事？

スーツアクターって知ってます？遊園地とかで着ぐるみに入る人

お父さん、体がそんなに大きくないから、女性の役が多いみたいで

女形っていうんですよ

最初に言っつよ

で、今は、そのショーステージの台本を書いたり、演出をしてるんですよ

浅瀬まなぶ

深沢秋穂

浅瀬まなぶ

じゃあ演出家でいいじゃん・・・お前、このやりとり慣れてるだろ  
最初はセーラームーンのさわりが鉄板なんだろ

深沢秋穂

あ、分かりました？最初の反応が楽しくて。

なんだ、私の事もよく分かっているじゃないですか

浅瀬まなぶ

はあ・・・君ら姉妹には心も体も振り回されっぱなしだよ

幸運の女神は、僕のふがいなさから愛想をつかして去ってしまったが

運命の女神は、この夏の始めから変わらずに居てくれるようだ

それも、3人。ヨーロッパの神話では、運命の女神は三姉妹とされている  
運命を糸で表したり、時計で表したりと形は様々だが

この夏、僕の前に現れた運命の女神は、振り子のような

大きく、不規則に、思いもよらぬ方向へと、振り子は揺れ続けている

海の家からは夏のナンバー Biehzが流れていた

音楽Ⅱ

沖野ほだか

あ、夏穂ちゃん、電話鳴ってるよ

深沢夏穂

はい、もしもし・・・え？・・・どうしたの・・・

やり直したい・・・って・・・え・・・説得した？・・・

今、金沢駅？・・・

沖野ほだか

夏穂ちゃん、送るよ、行こう

#### 第4話（最終話）

波

浅瀬まなぶ

神奈川県藤沢市 小田急線の終着駅でもある片瀬江ノ島駅  
駅名でもある江ノ島が見えるこの海を湘南と呼ぶ

一年を通して、サーフィン、ヨット、観光客などで賑わうこの湘南も

夏はさらにその存在が大きくなり、若者達で賑わう

空に大きく輝く太陽は、まさに夏のシンボルだ

一年前、この海で働くために、金沢からこの湘南へとやってきた僕は、

自分を活かすために、太陽の個性を得るために、日々、奮闘していた

まるで、何かを振り払うかのように・・・

波

青山なつき

東京WXをご覧のみなさん、こんにちは、青山なつきです  
私は今、湘南海岸に来ています、  
今日はこれから現場リポートをしていきますので  
一緒に夏を楽しみましょう！

番組の最後には新曲『夏の日に見た夢』も、お送りします  
この曲は私が初めて作詞した曲で、一年前の夏に……

浅瀬まなぶ

一年前……あの時に大きく揺れた振り子が、僕を変えた、  
変えてくれたんだ

波

深沢秋穂

じゃあ、ケータイはカウンターの下にあるから

浅瀬まなぶ

だから、自分で行け

深沢秋穂

ケチくさい男だな、女を歩かせるなよ

お姉ちゃん、ケータイ忘れちゃった……お姉ちゃん？

ほだかさん、あれえ

どうした？

浅瀬まなぶ

誰もいない……え……まさか……え……そんな……そんな……

浅瀬まなぶ

どうした……

深沢秋穂

さっきの大声は独り言？イヤー！怖い！

浅瀬まなぶ

違うわ！さっきまでいたよ！

深沢秋穂

怖い！ホラー映画より怖い！近寄らないでサイコパス！

浅瀬まなぶ

俺もびっくりだから！本当にさっきまで話してたんだよ

ほだかさんも、夏穂も、いたんだよ！

東京の喫茶店に行かないかって話があったの

深沢秋穂

その話がつれて……二人は、こ、こ、ころされ……

浅瀬まなぶ

いい加減にしろテメエ、ほら、レジの横にある車のカギが無いだろ

ほだかさんの車でどっか行ったんだよ

深沢秋穂

店ほったらかして何処へ？

浅瀬まなぶ

聞けば早いだろ……もしもし……ほだかさん？今どこですか？

金沢駅まで？……夏穂も一緒？……はい……分かりました

深沢秋穂

金沢駅？

浅瀬まなぶ

急用ができたんだって……お店よろしくとき

深沢秋穂  
浅瀬まなぶ

そっか・・・どうしたんだろ、お店ほっとくなんて珍しい  
そういえば、ほだかさん、私はここから動く気は無い、って言ってたな  
そんな大事な店なんだ、ここ

深沢秋穂  
浅瀬まなぶ  
深沢秋穂

旦那さんと一緒に開いたお店ですからね  
旦那さん？  
うん、でも、旦那さん、海に行っただけ・・・帰って来なかった  
ほだかさん・・・いつでも帰って来れるようになって、  
ずっと続けてるんですよ

浅瀬まなぶ  
深沢秋穂

この海の家は、2人の新居であり、灯台であり・・・お墓なんですよ  
そっか・・・  
たまに感じる時があるんですよ・・・お店が賑わってる時  
ほだかさんが笑顔でいる時・・・あ・・・今・・・隣にいる・・・  
一緒に・・・笑ってる・・・って・・・優しい人でしたから・・・  
そっか・・・悪い事しちゃったな・・・さっき大声でどなっちゃったよ  
ここは・・・笑顔でいる場所なのにな・・・（一礼）・・・  
・・・どうしました？

深沢秋穂  
浅瀬まなぶ  
深沢秋穂  
浅瀬まなぶ

掃除、綺麗にしないと  
・・・じゃあ私も  
バイトあるだろ  
休憩時間に来たから大丈夫です

深沢秋穂  
浅瀬まなぶ  
深沢秋穂

了解  
ふふふ  
どうした？  
・・・思い出しちゃった・・・真夏さんの事・・・  
真夏？

浅瀬まなぶ  
深沢秋穂  
浅瀬まなぶ  
深沢秋穂

旦那さん、本当に・・・『THE・夏男』みたいな人・・・  
真夏さん、私にとってもお兄ちゃんみたいな人で  
本当の妹みたいに可愛がつてくれたんです  
そのお兄ちゃんが、喫茶店の基本とは何か、を教えてください・・・  
思い出しちゃった  
教えてよ

浅瀬まなぶ  
深沢秋穂

掃除・・・まず、掃除、来たら掃除、帰る時も掃除、暇な時も掃除  
逆にお客さんがいる時だけは絶対に掃除をしたらダメ  
だから、喫茶店のマスターに暇な時間なんてないんだぞって・・・  
頭を軽く・・・ポンって・・・  
ああ・・・ほだかさん、こういう人と一緒になれて幸せだろうなあ・・・  
って・・・思った・・・

浅瀬まなぶ  
深沢秋穂

そうか・・・ちよつとそつち持って・・・よいしょ・・・  
あの

浅瀬まなぶ

ん？

深沢秋穂

結婚してくれませんか？

浅瀬まなぶ

はあ？

深沢秋穂

わああああ！テーブル持たせておいて急に離さないでくださいよ！

浅瀬まなぶ

何言ってるんだよお前！あー良かった、傷付いてない。奇跡

深沢秋穂

お姉ちゃん、自分が働くより、誰かを支える方が向いてるんですよ

浅瀬まなぶ

お姉ちゃんの話ね・・・って、どっちでもビックリだけど

深沢秋穂

お姉ちゃんに良い人できるまでは私がそばにいるけど

浅瀬まなぶ

ずつつてわけにはいかないじゃないですか  
じゃないですか、って言われても、知らないよ、そつちの事情は

深沢秋穂

結婚ってそんなもんなの？

浅瀬まなぶ

そんなもんでいいでしょ、ケンカしてもいいから、

深沢秋穂

ちゃんとそばに居てくれれば、結婚って、運命の人じゃなくてもいいと  
思うんですよ、そういう条件を満たせば、早いうちにサインしちゃっても  
アパート借りるんじゃないんだから

一緒ですよ、例えば、金沢って約50万人が住んでるじゃないですか  
結婚相手は50万分の1じゃないですよ、絶対

100人いたら一人くらいは結婚の条件満たしてる人いますって

結婚相手なんて、100人の中から選んでいいんですよ、早い者勝ち

浅瀬まなぶ

夢の無い事いうなよ！1億人の中から見つけさせてくれよ！

深沢秋穂

そういう意味では、条件満たしてると思うんですよ

意地っ張りで駄々をこねるでしょうけど、相手に対して

絶対に踏み込んじやいけないラインを持つてる人だと思っから、

傷つける言葉は言わなさそうだし、

あ、でも、態度で傷つける時もあるか

それに中々踏み込んでこない奴、わたし嫌々い

言いたい放題だな、お前

浅瀬まなぶ

じゃあ、二択にしましょう、東京から遊びにきた女と

神奈川県から傷心でやってきた女、結婚するならどっち？

浅瀬まなぶ

・・・それは・・・

深沢秋穂

あ、考えた、振り子が揺れた！

浅瀬まなぶ

違うよ！それに東京から遊びにきた女も、

本当は傷付いてきたのかもしれないだろ

深沢秋穂

じゃあ、東京から傷付いてきた女でもいいですから、どっち？

浅瀬まなぶ

・・・だから

深沢秋穂

ほら！考えた、やっぱり振り子はそっちに揺れている

浅瀬まなぶ

俺は何も言っていない

深沢秋穂

言ったも同然ですって、決まりね

浅瀬まなぶ

ただの二択だろ、合コンでありがちな、「こっちと」こっちどっちがいい？

みたいな、中身の無い会話

深沢秋穂

まあ、心の声が聞けてよかったですよ

浅瀬まなぶ

お前はただ漏れなんだよ、少しは気を使え

深沢秋穂

もう使って使って、使い過ぎてて・・・今に至る・・・

浅瀬まなぶ

・・・あのさあ・・・お姉ちゃんが心配なのも分かるけど、

お前・・・何かやりたい事とかあるんじゃないの？

深沢秋穂

・・・ハテナ？

浅瀬まなぶ

そうやってとぼけてもいいんだけど、君のお姉ちゃんさ

君にとってのお姉ちゃんを演じているようにも思うんだよね

心配してくれるのは嬉しいけど、妹は妹の人生を歩んで欲しいって

思ってるんじゃないかな、でも、自分の体の事を考えたら

わがまま言えないだろ、

本当なら海外でもどこでも行っちゃいそうな子だと思うよ

深沢秋穂

じゃあなに？まるで私がお姉ちゃんを縛ってるみたいじゃないですか

浅瀬まなぶ

そうは言っていないよ、俺、一人っ子だからさ、兄弟つてのがよく

分からないんだけど、仲良くて羨ましいなって思う時もある反面

兄とか弟を演じて疲れないのかな、って思う時があるんだよね

友達同士で演じる必要なんてないじゃん、

演じなくていいから友達なんだからさ、でも、

兄弟や姉妹はその立場を演じてる時ってあるだろ

友達よりも親しくて、友達よりも他人、不思議な関係だなーと思ってさ

深沢秋穂

そんなのあんたに言われたくない！

姉妹が友達よりも他人ってなんだよ？なにが分かるの？

そんなあんたは自分で自分を演じてて疲れませんか？

ははーん、そうか、はいはい、分からないのか、

自分で自分が分からないのか

どんなキャラなのかも分からないまま自分を演じてるのか

役作りできてねーし、そうやって人生という名の舞台を彷徨ってる

怒るなよ、今は穩便に話そうぜ・・・

今は演技？どっち？

なるべく大人でいようと演技してる

お姉ちゃんの前ではどっち？

うーん・・・

浅瀬まなぶ

深沢秋穂

浅瀬まなぶ

深沢秋穂

浅瀬まなぶ

深沢秋穂

はい素直、嘘つけないんだよね、  
お姉ちゃんの事だと演技しなくていいんだよね  
お互いの関係性を演じずに、お姉ちゃんと一緒になれるなら  
それでいいじゃないですか

そうすれば、私も安心して、自分の道を歩ける

どう？これでよくないですか？はい、サインしよう

だから話が早すぎるんだよ、しかも当の本人ここにいなーし

確かに！

浅瀬まなぶ

馬鹿か、馬鹿なのかお前は

深沢秋穂

じゃあ、結婚じゃなくてもいいから、

お姉ちゃんを連れて行ってくださいよ

神奈川の喫茶店、話聞いたんでしょ？そこに二人で行きましようよ

お姉ちゃん、神奈川県には振った男がいるから辛いんじゃないの？

深沢秋穂

大丈夫、大丈夫、そんなの一時の事だから、

ひと夏過ぎれば心も落ち着くよ

こんな空にも心にも曇りがかった場所にいるより、

毎日が快晴の神奈川がいいに決まってるじゃん

浅瀬まなぶ

まあそこは聞き流していただいて

深沢秋穂

そこまでして、お前がこだわる理由って何？なんで俺なの？

浅瀬まなぶ

さっきの大声もそうだし、

けっこう、しょうもない姿を見せてる気がするぞ

深沢秋穂

・・・真夏さんと・・・似てるからかな・・・

まあ、全然違うし、あつちは全然怒らないし、こっちは情緒不安定で

よく怒るし、あつちは私の話をうんうんって聞いてくれるし

こっちは、言う度に突っ込んでくるし、でも、似てるんですよ

掃除始めた時・・・もつと感じたかな

怒鳴って、悪い事しちゃったな、笑顔でいないとな、って言った時

温かくて、似てたよ・・・お兄ちゃんと・・・

あ・・・今・・・居るって・・・思ったから・・・

あつちは長男で・・・こっちは次男、って感じかな

私の事も・・・ちゃんと見ているようだし・・・

あるよ・・・やりたい事

・・・仲間を良く見なさいってというのは、ほだかさんが教えてくれた事

浅瀬まなぶ

俺は自分一人だと、自分にもなれねーよ、お前の言う通り

誰かが教えてくれないと、自分すら演じられねーよ・・・

まだ・・・俺は・・・俺は、まず・・・自分にならないと・・・

深沢秋穂  
浅瀬まなぶ  
深沢秋穂  
浅瀬まなぶ  
深沢秋穂

東京行けば、もっと自分らしい自分になれるのかなあ・・・  
・・・ふふ・・・泳げるようにもなるかもね  
それは・・・いいや・・・だからせめて押さないでね  
そうですね、そのまま帰ってこないと、困りますから  
こーら・・・それは縁起でもないだろ（頭を軽くポン）  
あ・・・ふふ・・・はい・・・

波

浅瀬まなぶ

夏の夕陽は、どこか切なく感じるものだが  
今日、今この瞬間、海から見える夕陽に切なさはなく  
温かく・・・懐かしい感じがした・・・  
しばらくの間、夕日を見つめ、僕は家に帰った  
けど・・・翌日、深沢秋穂は、海の家には来なかった  
次の日も、また、次の日も・・・  
ほだかさんからは

沖野ほだか

ちょっと具合が悪いみたいだから休ませてあげて  
慣れない土地で疲れが出たんだよ

との事だった

浅瀬まなぶ  
沖野ほだか  
浅瀬まなぶ  
沖野ほだか

ほだかさんは、慣れない土地で疲れる事はないんですか？  
ないね  
相変わらず即答だな

浅瀬まなぶ

一人なら寂しくて、疲れるかもしれないけど  
一人じゃないって気づいたら、一人でも平気なもんだよ  
そうですね・・・俺は・・・一人だなんて実感してるんで  
寂しくて、平気じゃられないな、きつと・・・

沖野ほだか

錯覚、人はみんな錯覚で生きてるの  
夢や目標、好きも嫌いも、現実と錯覚の違いに気付いてないんだよ  
だから、寂しいのはきつと錯覚、そう思い込んでるだけ  
本気だったなら、大丈夫・・・本気だったから・・・大丈夫  
夏はいいよ・・・夏がいいよ・・・夏が・・・好きだ・・・  
夏・・・真夏・・・真夏さん・・・

浅瀬まなぶ

沖野ほだか

・・・神奈川から来た私にね・・・  
もう少し・・・ここにいて欲しいって、言ってくれた・・・  
だから・・・一緒に働く事にした・・・

あなたも、本気と向き合えば分かるよ、すぐに慣れるよ、慣れるよ住めば  
行けば分かるよ東京、個性活かせよ東京、それが俺の TOKYO、

・・・DJタイムも・・・好きなんですネ

浅瀬まなぶ  
沖野ほだか  
浅瀬まなぶ

よく見てるじゃん、だから・・・任せたいんだよ、あなたに  
東京ね・・・行けば分かるんだろうな、東京

波

残暑は厳しいものの、夏は終わりを告げ始めている

この夏が終わる頃、僕は新たな世界へと歩き始めるのだろう  
日が経つ程に、僕の覚悟は確かなものへと変わっていった

でも、この言葉は言えるのだろうか・・・

言えたから、今があるのかもしれないが

本当に言えるのなら、二度目となる言葉だ

一緒に働こう、その言葉を伝えたくて、僕は彼女を待ち続けた

そして、まるで夏の始まりのように、太陽が光り輝く日に、

彼女は僕の前へとやってきてくれた。

深沢夏穂

ごめんね・・・長い間・・・休んじゃって

浅瀬まなぶ

まったくだよ、もうお盆も明けて、人もいないぜ

深沢夏穂

本当に・・・ごめんね

浅瀬まなぶ

いや、いいよ・・・体・・・大丈夫なのか？

深沢夏穂

体は・・・大丈夫なんだけど

浅瀬まなぶ

なら良かった、あのさ

深沢夏穂

あのね・・・言っただけいい？

浅瀬まなぶ

うん

深沢夏穂

知っているかと思うんだけど、私・・・婚約していた人が、いたのね

浅瀬まなぶ

うん

深沢夏穂

いろいろあって・・・流れちゃったんだけど・・・

浅瀬まなぶ

・・・うん・・・

深沢夏穂

やり直したい・・・って言われたんだ

浅瀬まなぶ

え？

深沢夏穂

この前、急に、ほだかさんといなくなった時あったでしょ、その時に  
相手が金沢駅まで来てくれて、両親も説得したって言われて・・・

結婚しようって・・・言われたんだけど・・・どうすればいいかな？

え？

浅瀬まなぶ

私・・・どうすればいいかな？

深沢夏穂

どうすればって・・・よかった・・・んじゃ・・・ないの？・・・

浅瀬まなぶ

・・・そうだね・・・私・・・ちゃんとやっていけるのかな？

深沢夏穂

・・・直せるのかな・・・本当に・・・

浅瀬まなぶ

お前は・・・大丈夫だろ・・・多分・・・

いや、っていうか俺に聞くなよ、そんな事

そんな事さ、俺、前の事なんて何も分かんないからさ・・・

分からないから・・・分かんねーよ

直せるんなら・・・直せるんだろうし・・・

・・・無理なら・・・無理だろうし・・・

・・・俺には・・・分からないよ

・・・そっか・・・結婚・・・すればいいのかな？

深沢夏穂

波

彼女は震えていた、初めて逢った時よりも、遥かに大きく・・・

この時・・・僕はどうだったのだろう・・・震えていたのだろうか

どうだったのだろうか・・・

浅瀬まなぶ

せっかく、迎えに来てくれたんだから、信じればいいんじゃないかな、

おめでどう

波

深沢夏穂

・・・あり・・・がとう・・・でもさ・・・

浅瀬まなぶ

おめでどう、不安もあるだろうけど・・・良かったじゃないか

幸せになってよ、じゃあ、俺、行くところ・・・あるから

僕は、次の日、そのまま、湘南へと向かった  
この時に分かったんだ、自分は何者なのか、  
自分が何者なのかも分からずに、演じ続けて来た自分が、  
本当は、何者なのか・・・  
僕は・・・ただの臆病者だった・・・  
人と、真正面から向き合う事のできない臆病者で  
答えを求められても、本気で応える事のできない、卑怯者だった  
震える彼女に、勇気を出そうと、必死だった彼女に  
僕は、震えずに、嘘をついた  
僕は歩きだしたんじゃない・・・逃げたんだ・・・  
逃げただけなんだ、現実から  
本気で、現実と向き合うのが怖くて・・・逃げただけなんだ・・・

時間経過

波の音

一年後 夏、僕は湘南で一人、海を眺めていた  
臆病で、卑怯な僕でも、海は優しく包み込んでくれる  
僕は変わっただろうか、東京でなにか変わったのだろうか  
あの日に止まった、答えのないまま、  
僕が自ら止めた、振り子をそのままにして

深沢夏穂  
浅瀬まなぶ

ねえ、人生楽しんでる？  
え？

振り返ると、そこには彼女の姿があった  
貸し浮き輪を持った、あの日のままの彼女の姿が

浅瀬まなぶ  
深沢夏穂  
浅瀬まなぶ  
深沢夏穂  
深沢夏穂

どうなんだろう  
泳がないの？  
泳げないんだよ  
貸し浮き輪はありますよ  
どっから持ってきたんだよ、それ  
あ、残念そう、久しぶりなんだからもう少し開放的に  
体の外に出せばいいじゃん、プチュヘンザ！イエー！

浅瀬まなぶ

それができないんだよ金沢人は

深沢夏穂

声を出すのは、健康にもいいんだよ……見て……このお腹

浅瀬まなぶ

え？

深沢夏穂

……大きくなったでしょ

浅瀬まなぶ

そう……だね……そうか……はい……はい……

そうだよな、良かったじゃないか、おめでとう

深沢夏穂

やっぱり！シヨック！聞きたくなかったー、

おめでとうじゃないってば！

やっぱ太ったかー、全然良くない、その返しはねーぜ、若けーの

浅瀬まなぶ

え？何？結婚したんじゃないの？

深沢夏穂

断ったよ、その話は……やっぱり……巻きこめないよ

結婚って、家同士の事でもあるから……

私は多分、迷惑かけちゃうだろうから、断った

だから……時計も……返した……

ごめんね、あの時、相談しちゃって、悩ませちゃったよね

波

僕はこの時、気付いた、彼女が震えていない事に

浅瀬まなぶ

そーなんや、まあ、お前がそう決めたんならいいんじゃないか

でもなんやろーな、お前、嘘ついとるやろ

嘘なんかついてないよ

どうかなー、実際、その家に嫁いたら面倒くせーなーとか

思っただんじゃないか？

はーい、はいはい、よく見てるねー、若えの……私は臆病者だからね……

そんな期待に応えられるような、演技はし続けられないかなーって

だから……臆病で……卑怯な人間だよ

勇気あるがいね

え？

ちゃんと自分で決めて、断る勇気あるがいね……

……私に……そんな……勇気なんて……

おっ！どうしたん？震えとるがいね、寒い？夏なんに

な、夏はいいよ……夏がいいよ……夏が好きだ！

波打ち際でドーン！

深沢夏穂

あー！もう！なんで！信じられない、戻らないと着替え無いのに！

浅瀬まなぶ

じゃ、戻るか、戻ろう！

深沢夏穂

べーだ！ついでに泳ぐ！

浅瀬まなぶ

そうやな！太ったしな！

深沢夏穂

マジでショック！その返しはねーぜ、

はいはい、若えの、これが平泳ぎだ！

悔しかったらついてきなー、スイー、スイーっと♪

浅瀬まなぶ

足ついて、浮き輪あるなら行ける！

深沢夏穂

あー！捕獲・・・うわっ！眩しっ！

浅瀬まなぶ

湘南は曇りがかってねーからな、

深澤夏穂

・・・ふふふー、そうだね

あ・・・じゃあ、あそこも行きたい

どこ？

富士山

そっちか！一瞬、海外かと思ったわ

まずは国内制覇！

浅瀬まなぶ

山なめんなや、まあ、お前くらいなら、なんかあっても

深沢夏穂

担いで降りれるけど

深沢夏穂

それは頼もしいですねー

浅瀬まなぶ

他にも、行きたいところ考えとけや・・・戻ろう・・・

深沢夏穂

・・・うん・・・

浅瀬まなぶ

それから・・・海の家で・・・一緒に働こう

深沢夏穂

うん！

なぜか、体が震えた、

そして彼女も震えながら、それでも力強く答えてくれた  
僕らの夏はまだ始まったばかりだ

ラジオからは 夏のナンバー、Blue Haze が流れていた

リアライズサマー END

『BlueHaze』

作詞・輪島貴史

作曲・ミノノサトエ

風にふれた日の めまいは優しく  
海から連れ添う しずかな光だけ

消える想い こぼれていくの とめて  
震えながら 抱き寄せる声

逢いの小舟は 漂い過ぎてく

満ちて 凧ないでも それでも生きてゆくのね

風にさわつたと 君から呟つぶやく

波から届ける 時計の針音

臆病な人 あの日に止めた音色  
答えもなく 手のひらに置き

逢いの小舟は 行き交かい暮れてく

蒼く去りゆき それでも生きてゆくのね

それでも生きてゆくのね  
それでも愛されゆくのね